
あおい

創離

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あおい

【Nコード】

N1346W

【作者名】

創離

【あらすじ】

墓に居るのは一人の少年・葵、いなくなってしまった彼女を求め今日も墓に通う。

人は生き返りますか？（前書き）

少し気分を入れ替えて新連載

人は生き返りますか？

空は晴れ渡り、太陽の照りつける6月の頭。梅雨の間の貴重な晴れの日だ。

いや、どうせ外に出るのなら研究室に近い、じめじめした曇りの日良かったのだが……。

「まったく、もう2週間も学校に来てないじゃないか」

俺は墓の前で座り込む葵に話しかける。

「……伊波さんですか、久しぶりですね」

「学校にこない不良生徒と会う機会なんて、そうそう無いからな」俺はなるべく明るく、少し小馬鹿にする感じで語りかける。

「それがあいつの墓か、ずいぶん立派なの買ってたんだな。あいっ」

「たかだか18歳で墓なんて買っちゃって、何を考えてたんだか……」

「……」

場には沈黙が流れた。

「……あいつが考えてたのはいつだってお前の事だけだよ」

「……」

俺は葵の後頭部に一冊のノートを投げつけた。

「いてっ、なんですか？ 伊波さん」

「結城 葵に宣言する。第五次あおい計画をこれにて終了とし、検体NO.5 結城 葵に対する警戒、監視及びその他の研究的行為の一切を終了とする。」

要するに、お前はここで死んだ。今からお前が何をしようと俺たちは関わらない。なぜならお前はたった今から死体になったからだ」

「……？ 伊波さん？」

「そう例えば、お前がその研究資料であるそのノートを見ても何の

問題も無い訳だ」

俺は葵に笑いかけてやる。

「伊波さん……」

「俺は何もお前に……お前たちにしてやれなかったからな」

葵は無理に笑った様な表情を浮かべた。

「伊波さん……人は、生き返りますか？」

「それは……その資料を読めばわかる」

「……」

間をおいて、葵はページをめくった。

人は生き返りますか？（後書き）

正直言つとプロローグです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1346w/>

あおい

2011年10月9日00時56分発行